

## [センター長メッセージ]

### 未曾有の事態に直面して

この度の東日本大震災により被災された皆様に、心よりお見舞いを申し上げます。また、本センターに対して多くの皆様からご支援お励ましをいただき感謝申し上げます。

幸いなことに、本センターの安全は確保され、人的な被害はありませんでした。3月11日の大地震直後は、停電に見舞われ、キャンパスネットワーク StarTAINS およびスーパーコンピュータ設備は一時運用停止に追い込まれましたが、電力復旧後、センター職員一丸となってこれら情報基盤設備の点検復旧に務め、StarTAINS とスーパーコンピュータ、そして東北地域ネットワーク TOPIC の基幹サービスをいち早く回復させ、現在、被災により障害を受けている部局の情報基盤の復旧支援に取り組んでおります。

今回の東日本大震災により我が国は様々な社会インフラが被害を受け、日常生活に多くの支障が生じております。特に、原発事故を含む電力設備の甚大な被害による我が国の電力供給能力の著しい低下は、東北関東の広範囲にわたり、あらゆる社会活動の制約になっております。スーパーコンピュータなど情報基盤の運用は大きな電力を必要としますが、その一方で、我が国の先端科学技術の推進ばかりでなく、防災・減災など安全・安心な社会設計に必要な不可欠であります。従って、我が国の震災後の復興を加速させるために重要なこれら学術情報基盤の効率的な運用と活用方法を、我々はこれまで以上に知恵を出し合って、今回の未曾有の事態を乗り越えていかなければなりません。

我が国の大学スーパーコンピュータセンターのうち、東日本大震災の影響による東北・関東地方の電力需給逼迫の影響を受ける東北大学、筑波大学、東京大学、東京工業大学の各センターでは、北海道大学、名古屋大学、大阪大学、九州大学の各センターと協議し、各センターの計算資源を可能な範囲で融通することを合意しました。同様な協議は、当センターと関係が深い、地球シミュレータセンターやドイツの高性能計算センター（HLRS）とも行っております。今後早急に、具体的な資源提供の方法を策定した上で、東北・関東地方の大学センター利用者にアナウンスする予定です。なおこの支援計画は、「革新的ハイパフォーマンス・コンピューティング・インフラ(HPCI)」構築の準備段階の活動として実施する予定です。またこの取り組みにより、他のスーパーコンピュータを保有している機関のユーザに対する支援も可能な限り実施する準備をしています。

また、東北大学として地域に密接した社会復興への貢献として、安全・安心で持続可能な社会の設計・構築に関係する研究活動分野に対する積極的な支援をしたいと考え、防災・減災・エコ社会の形成に関する研究を行う研究者に対して、シミュレーションに必要なスーパーコンピュー

タ資源を優先的に提供する公募事業を近々行う予定です。

国難とも言える戦後最大の事態に対して、被災地の中心にいる我々が以上に示したこと以外にもどのような貢献ができるか、皆さんと一緒に考え、積極的に取り組んで行く所存です。幅広くご意見をお聞かせいただくと共に、今後とも、様々な面で御支援、御理解と御協力をお願い申し上げます。

平成23年4月1日

東北大学

サイバーサイエンスセンター

センター長 小林広明